

磁気科学研究の今と未来

開催日時：2018 年 3 月 19 日（月）13:00～

会 場：早稲田大学 西早稲田キャンパス 54 号館 A202

磁気科学の黎明期から精力的に活動され、現在も各分野の最先端でご活躍されている方を講師としてお呼びして、ご講演いただきます。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

招待講演者（所属）：タイトル

- 木村恒久（京都大）：磁場配向の進歩
- 尾関寿美男（信州大）：磁場による水および水系の構造と機能の制御
- 岩坂正和（広島大）：生物がつくる光学素子機能の磁氣的解明
- 後藤博正（筑波大）：液晶磁場電解重合
- 西嶋茂宏（福井工大）：高勾配磁気分離を用いた汚染土壌減容化
- 掛下知行（大阪大）：マルテンサイト変態に及ぼす磁場効果とその電子論的解釈

一般講演も募集します。是非ご投稿ください。

企 画：応用物理学会 磁気科学研究会

http://www.device.energy.kyoto-u.ac.jp/jsap_mag/index.html

世話人：山登正文（首都大）、山本勲（横国大）、三井好古（鹿児島大）